

# 社会福祉法人ウイング

## 平成 28 年度 事業計画・収支予算書

### 〈経営理念〉

#### 〈ミッション〉＝使命・存在目的

● 障害児・者やその他介護を必要とする方の地域生活支援の提供拠点

障害児・者やその他介護を必要とする方が将来にわたり、その環境・年齢・及び心身の状況に応じ、この地域で安心して快適に生活ができるよう、必要な福祉サービスを提供する。

#### 〈ビジョン〉＝将来の望ましい姿

● 障害のある人もない人もお互いに支え合って生活できる地域社会を目指す。

障害あるなしにかかわらず、誰もが「この町で生まれてよかった！暮らしてよかった！」と実感できる地域社会づくりに貢献する。

#### 〈バリュー〉＝大切にしたい中核的価値観・信念・行動理念

● 利用者の主体性に基づくサービス提供

利用者のエンパワメントを支援の本質と捉え、「本人が選ぶ」サービス提供を目指す。

● パートナーシップでつながる利用者スタッフの関係性

単にサービスを売る人・買う人ではなく、信頼に裏打ちされた対等な関係づくりを目指す。

● プロフェッショナル集団であることとスタッフの自己実現

深い専門性と豊かな人間性を備えた人材育成をすることによって、広い視野を持った少数精鋭のプロ集団を目指し、スタッフの自己実現や充実感をもてる組織風土を醸成する。

● 地域密着・開かれた福祉拠点

地域住民やボランティア、関係機関等との「顔の見えるネットワーク」を結び、障害がある人達の社会的存在意義を共有・共感することを目的とし、開かれた福祉拠点を目指す。

# 社会福祉法人ウィング 平成 28 年度 事業計画

～ 笑顔がつながる 笑顔の力は無限大 ～

今春、社会福祉法人制度の改革を柱とした社会福祉法の改正が公布され、ガバナンスの強化、事業運営の透明性、地域における公益的取り組みの推進など、改めて社会福祉法人のあるべき姿、進むべき道が明確化されました。社会福祉法人が福祉を担う中核的存在として国民の皆様から大きな期待をされていると理解し、今後も果敢に地域の福祉ニーズに応えるべく、その役割を果たしていきたいと存じます。

さて、今年度は新しい施設「にこにこぬくぬく」がスタートする記念すべき年となります。とりわけ、ショートステイ事業は、保護者の皆様から長年にわたりその必要性の声をいただいてきた念願の事業でもあります。普段の生活を大きく変えることなく家庭的な雰囲気の中でショートステイできる場として「ぬくぬく」が誕生しました。そして、児童発達支援・放課後等デイサービス「にこにこ」も川島町内初めてのサービスとなります。川島町において在宅で生活する障がいのある子どもたちや人たちを支えるサービス基盤が整ったといえます。

今年度はその基盤を十分に生かして、地域とつながりながら、それぞれが「利用される皆様の笑顔を作り出す」質の高いサービスを維持・向上できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

## 1. 利用者を中心にした支援体制の再構築

にこにこぬくぬく開設に伴い、新しい生活スタイルにチャレンジしていく利用者も多くいます。利用者の安心と楽しみのある豊かな暮らしのために、志を一つにして各事業所間の連携・応援体制を再構築していく必要があります。何のために私たちは今ここに居るのか、何をしなければならないのかを共有しながら、利用者を中心にした支援体制の再構築に向けてスタッフ一人一人が参画し、法人全体で取り組んでいきます。

## 2. 《あたり前の暮らし》《その人らしい生活》を大切に、利用者主体のサービス提供を目指す

【のびっこ】仕事を通して「幅が広がる」豊かな生活を目指す。

【そら】地域のニーズにしっかり応えていく。選んでよかった、使ってよかったと思っただけの事業所を目指す。

【にじ】入居者の声や想いに寄り添う。人権研修・啓発の継続的取り組み

【にこにこ・ぬくぬく】

「親の安心」と「子どもの楽しみ」が実現できるサービス提供・運営体制の確立

【きらり】当事者のエンパワメントを軸に細やかな相談支援を行う。きらり smile サロン  
開催（月 1 回）

## 3. 地域との新しい出会い・新しいつながりを創り出す《笑顔∞笑顔》

「つなぐプロジェクト」「人材発掘プロジェクト」を核とし、地域の人たちとの出会いやつながりを創り出すことで、障害のある人たちや障害福祉の理解・啓発に寄与する。

## 4. 組織力の強化

引き続きボトムアップ組織の維持・発展のために人材育成を強化する。

## 平成 28 年度

### 【事務部門】年間目標

#### 《基本方針》

- ・事務部門が安定し効率良く機能するよう、改善や見直しを行なっていく。
- ・他部門との連携やサービス充実のためのバックアップ体制を意識しながら具体的に取り組む。
- ・放課後等デイ・短期入所事業がスムーズに開始し、稼動していくよう事務側でも情報を収集しサポートする。
- ・事務部門に集約される膨大な情報を、安全且つ適正に取り扱い、管理する。

#### 《重点目標》

- 業務の精度向上、効率化
- 他部門との連携、情報の共有
- 個々の知識を広げ、深める

#### 《取り組み》

- ・どの業務においても、均等に仕事ができるように部門内で常に連携を図る。  
また、日常業務の中からも改善点などを見つけ、誰が、いつ携わってもミスが出ない流れを事務全体で考え、可視化やマニュアル化に取り組む。
- ・他部門からの情報を積極的に収集し、それぞれの情報を事務部門内で共有し、サービスの充実・向上に繋がるよう事務部門としての役割を果たす。
- ・放課後等デイ・短期入所事業の制度や請求に関わる情報にアンテナを張り、行政への確認等も積極的に行い、確実な処理を行う体制を整えていく。
- ・各事業所職員の労務事務を正確に適時行い、届出事項の変更等は速やかに対応する。取り扱う個人情報の漏えい等に十分注意する。
- ・税理士からのアドバイスや情報を業務に取り入れ、滞りなく適正な財務処理を行う。

## 平成28年度

### 【相談支援きらり】サービス提供目標

#### 《サービス提供基本方針》

川島唯一の障がい者相談事業所として、障がいのある子や人達が、この地域で生涯にわたりその人らしく生活できるよう、当事者のエンパワメントを軸に細やかな相談支援を行う。その為には、行政をはじめ関係機関との連携、インフォーマルな社会資源の活用など、地域で支える視点をもちながら、人と人とのつながりを大切に推進していく。

#### 《重点目標》

- ① 現在の相談支援を続けて行く。(本人・家族の希望に沿った総合的な計画)
- ② きらりSmileサロンを月1回土曜日に開催する。
- ③ 生活困窮者支援に対する情報収集を行う。
- ④ 自立支援協議会の準備を進める。

#### 《取り組み》

- ① 現在の支援を続けて行く
  - ・本人が自分らしく持っている力を最大限に発揮し、生き生きと住み慣れた地域で生活できるように、家族、関係機関（利用事業所、行政、医療、学校）と必要時に連携を取りながら支援していく。
- ② きらりSmileサロン開催（月1回土曜日開催）
  - ・就労している又は目指している障害者や、引きこもりの健常者の方が対象。
  - ・雑談や、企画したイベント（調理やゲーム・外出）に参加し、仲間づくりや自立に向けての悩みを共有し解決に向けてサポートして行く場。
- ③ 生活困窮者に対する情報収集
  - ・川島町のシステムを福祉課に聞く。
  - ・民生委員の集まりに参加し、きらりの説明、民生委員の活動を知る。
  - ・交流を持ち情報収集する中で、自分たちの役割、連携を考えて行く。
- ④ 自立支援協議会の発展
  - ・自分たちが理想とする形が何かを考え、出来る範囲から進めて行く。
  - ・役場と協議していく。→連絡調整会議などが実施できるよう働きかける。

## 平成28年度

### 【ワーク&ライクのびっこ】 サービス提供目標

#### 《サービス提供基本方針》

1. いつでも、日々の生活を安心して過ごせる暖かい場として居続ける
2. メンバーが一生をのびっこで安心して過ごせる環境を根付かせていく

#### 《重点目標》

- ◆仕事をすることで、メンバーもスタッフも素敵な人になっていく  
エラン、ジャカッセ、マハロ、カフェ、パレットそれぞれの仕事を深みのある、味のある仕事にしていく
- ◆一人ひとりに優しく丁寧な眼差しで日々を送れるように過ごしていく
- ◆安全運転が根付く風土を1年をかけて作っていく

#### 《取り組み》

- ・メンバーに寄り添った暮らしをしていく。日々を安心、安全に過ごしていく。
- ・のびっこは、メンバーが生涯を通して生活をする場所ということを全スタッフの共通認識にしていく。
- ・仕事を通してメンバー一人ひとりが「幅が広がる」豊かな生活ができるようなのびっこであり続ける。
- ・新メンバー、新スタッフが一緒にチームとして仕事しやすい環境を作っていく。
- ・メンバーと共に魅力ある仕事を作りだしていく。
- ・メンバー給料アップ向かって1年間取り組む。
- ・実習生、ボランティアを積極的に受け入れる体制を作っていく。
- ・保護者とよい関係を築いていく（個別面談・連絡帳）
- ・利用者の栄養バランスを考えたおいしい給食を提供していく。
- ・安全運転の啓発は、職員全体で声を掛けあい良い習慣を作っていく。

平成 28 年度

## 【ライフサポートそら】 サービス提供目標

### 《サービス提供基本方針》

在宅サービスの事業所として、スタッフ・ヘルパーひとりひとりが高い意識を持ち、地域のニーズにこたえていけるようにしていく

現在実施している事業ひとつひとつをより深め、利用者やその家族がライフサポートそらを《選んでよかった・使ってよかった》と思える事業所にしていく

### 《重点目標》

- 利用者ニーズの見極め
- シフトの効率化
- 訪問介護員としての意識の向上
- ヘルパーの確保にむけて

### 《取り組み》

- 利用者や家族からの相談や直接支援及び各関係機関からの情報等、様々な関わりの中からニーズを拾い上げる
  - スタッフ・ヘルパー・関係機関での拾い上げた利用者ニーズ共有して支援につなげる
- それぞれの事業所の派遣のあり方、現状での利用可能状況を見直し整理して、うまくマッチングして利用率をあげ、より良い支援・シフト体制をつくる
- 訪問介護員としてそれぞれが意識を高める
  - それぞれの研修計画及び研修の在り方を見直し、実践する
- ヘルパー募集を随時おこなう
- るんるんクラブ等のボランティアを募り、障害者福祉に興味を持ってもらい福祉人材発掘・育成につなげる

事業名	行動援護・居宅介護・ 重度訪問介護・同行援護		実施地域	川島町・川越市・北本市・吉見町
目標数	契約件数	34件	総利用時間	行動援護 4800時間／年 400時間／月 居宅介護 2346時間／年 195.5時間／月 重度訪問 216時間／年 18時間／月 同行援護 318時間／年 26.5時間／月
実施計画・目標	<p>① 担当を中心に利用者個々のニーズを見極め、必要なサービスを提供できるように、スタッフ・ヘルパー間で認識を深めて利用者支援を行っていく。</p> <p>② 行動援護・居宅介護・重度訪問介護・同行援護それぞれの事業における必要な知識と技術の向上を図り、利用者に対応していく。</p> <p>③ 地域支援部門（在宅部門）として、生活にかかわる部分について中心となって支援を行い、利用者にとって充実した生活が送れるようにサポートしていく。</p> <p>④ 関係機関との連携を密に行い、利用者にとってより良い支援を提供できるように努めていく。また、新規事業（にこにこ・ぬくぬく）とも連携しながら、利用者が必要とする支援を行っていく。</p> <p>⑤ 各スタッフ・ヘルパーで、必要と思われる研修（行動援護従事者養成研修や各種外部・内部研修等）に参加していく。</p> <p>⑥ 行動援護については、現在いる利用者のニーズに最大限応えつつ、新規の利用者についても視野に入れていく。</p>			

事業名	移動支援事業		実施地域	川島町・川越市・北本市・吉見町
目標数	契約件数	63件	総利用時間	時間 3960／年 330時間／月
実施計画・目標	<p>① 利用者の生活が充実するように、個々にあった支援を提案していく。また利用者の新たなニーズも掘り起こしていく。</p> <p>② ご本人,ご家族とのコミュニケーションを密にとり、定期的に支援計画の見直しを行い、様々な角度から質の高いサービスを展開していく。</p> <p>③ ヘルパーが統一した認識を持って支援に取り組めるよう、派遣中の様子の聞き取りや、ヘルパー定例会などを通し、改善点や疑問点の解決、支援計画などを細かく伝えていく。</p> <p>⑤ 関係機関と情報の共有し関係者がひとつになり、より良い支援計画を立てていく。</p>			

事業名	介護保険 訪問介護・介護予防訪問介護 川島町介護予防日常生活支援総合事業		実施地域	川島町・川越市
目標数	契約件数	4件	総利用時間	348時間/年・29時間/月

実施計画・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズの把握、特に状況やサービス提供の変化等の情報の周知に努める。</li> <li>・サービス内容の理解を深め、利用者の生活に何が必要なのかという見極める目を持って要望に合わせた様々なサービスの展開を心掛ける。</li> <li>・ケアマネージャーや関係機関との情報交換は密に行う。</li> <li>・報・連・相の仕組みの構築に努め、派遣ヘルパーからの報告を派遣内容の報告に止まらせずにサービス内容を振り返る材料としていく。</li> <li>・引き続き担当者会議への積極的な参加を促し、充実した意見交換ができ、様々なスキル向上の一助となる場としていきたい。</li> <li>・現状の利用を維持していくと共に、障害者総合支援法から介護保険へ移行していく方や、そのご家族に対しての受け皿となる様、スタッフ全員が介護保険について学び、情報を共有していく。</li> </ul>			
---------	---	--	--	--

事業名	障害児(者)生活サポート事業	実施地域	川島町
目標数	契約件数	125件	総利用時間
			時間 3204h/年 267h/月

実施計画・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 生活サポートを利用することで、利用者が豊かな生活の為に充実した支援を受けられるように、各々に応じた最適なサービスを提供していく。</li> <li>② 利用者のニーズに沿うようなより良い利用方法を考え提案し、支援に繋げていく。</li> <li>③ 送迎や通院等の付添の依頼に対応できるスタッフを確保し、常に余裕のあるスケジュール計画を行うとともに、緊急時の追加依頼にも柔軟に対応できる体制を整えていく。</li> <li>④ スタッフ全員がスケジュールを把握し、派遣の変更事項などは台帳や業務日誌等で確認を行い、スタッフ間での連絡・確認を密に取り合い円滑な派遣が行えるよう努める。</li> <li>⑤ 毎月の会議を通して、利用者各々の状況などの確認を行い、スタッフ・ヘルパーが利用者の情報を把握・共有し、より良いサービスの提供に繋げていく。</li> </ol>		
---------	--	--	--



事業名	るんるんクラブ 川島町障害者（児）スポーツ芸術文化等事業		実施地域	川島町
目標数	利用者数	25名	実施回数	合計48回(月4回×12ヶ月)
<p>教室全体：各教室の中身を充実させ、参加者を増やしていく。そのために、企画の練り込み、運営マニュアルに則った教室運営、事前打ち合わせ・反省会の充実、及び広報活動を意識して行うと同時に、教室送迎を継続する。</p> <p>&lt;るんるんキッズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：川島町内外の場所で様々な体験を通して、生活をしていく上で必要な事を学びながら、仲間と楽しい時間を過ごす。また、カルチャースクールの教室と連動しながら、将来的にそちらの教室に移行できるように促していく。</li> <li>・ 年間目標：活動の流れの中で、買い物や交通機関の乗り方等を含めた、日常生活に欠かすことのできない行動について、スムーズに行えるようになる事を目指す。また、未就学児及び学齢期の方（18才まで）の参加について、広報活動等をおして幅広く声を掛け、募っていく。 (役場福祉課、生涯学習課、保健センター、町内の保育園、幼稚園、小学校等と連携を図り、PRしていく。)</li> <li>・ 開催日時：毎月1回/原則第4日曜日10:30～12:00(変更の場合あり)</li> <li>・ スタッフ：コーディネーター(1名)、必要に応じ教室スタッフ(1～2名)</li> <li>・ 教室の流れ： 10:00 準備、打ち合わせ 10:30 教室開始 12:00 教室終了、反省会 12:30 終了</li> </ul> <p>&lt;カルチャースクール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：仲間と一緒に様々な体験をしたり、表現をしたりすることを楽しむ。また、外部の方に講師をご協力いただくことにより、るんるんクラブの活動を知っていただき、障害児者に対する理解へと繋げていく。並行して、ボランティアを募り、一緒に活動していただきながら、地域の方々とのふれあいを図っていく。</li> <li>・ 年間目標：11月の川島町生涯学習フェスティバルのステージ発表を目指す。 同時期の中央文化展には作品を出展し、参加者の方々の作品を展示させていただきます。</li> <li>各教室の内容を充実させ、同時に参加希望者が増えるようるんるん通信やHP、ブログ、広報等で教室の紹介を行っていく。</li> <li>・ 開催日時：毎月3回/原則第2、第3、第4火曜日(16:30～18:00)</li> <li>・ スタッフ：コーディネーター(1名)、教室スタッフ(1～2名)、 (教室により)講師(1名)</li> <li>・ 教室の流れ： 16:00 準備、打ち合わせ 16:30 教室開始 18:00 教室終了、片付け、反省会 18:30 終了</li> </ul> <p>*年間予定：別紙「るんるんクラブ平成28年度年間予定」参照</p>				

**るんるんクラブ**  
**平成28年度年間予定**

開催月	カルチャースクール			るんるんKIDS <sup>キッズ</sup> (学齢対象)
	(原則)第2火曜日 16:30~18:00	(原則)第3火曜日 16:30~18:00	(原則)第4火曜日 16:30~18:00	(原則)第4日曜日 10:30~12:00
4月	12日	19日	26日	24日
	フラダンス フラットピア多目的室	フラパール 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	フラパール 町民体育館
5月	10日	17日	24日	15日 (第3日曜日)
	フラワーアレンジ*春* コミセン和室	フラパール 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	フラワーアレンジ*春* にこにこ
6月	14日	21日	28日	25日 (第4土曜日)
	フラダンス フラットピア多目的室	フラパール 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	スマイルカフェに行こう 平成の森公園
7月	12日	19日	26日	24日
	フラダンス フラットピア多目的室	卓球 町民体育館(卓球室)	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	電車に乗ってみよう(小学生) 外出
8月	9日	30日 (第5火曜日)	27日 (第4土曜日)	21日 (第3日曜日)
	工作 コミセン和室	卓球 町民体育館(卓球室)	よさこい&ダンス <b>のびっこ夕涼み会発表</b>	電車に乗ってみよう(中学生) 外出
9月	13日	20日	27日	24日 (第4土曜日)
	工作 コミセン和室	卓球 町民体育館(卓球室)	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	スマイルカフェに行こう 平成の森公園
10月	11日	18日	25日	16日 (第3日曜日)
	フラワーアレンジ*秋* コミセン和室	キックベース 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	バスに乗ってみよう(小学生) 外出
11月	8日	15日	3日 (第1木曜日)	27日
	調理 フラットピア調理室	キックベース 町民体育館	よさこい&ダンス <b>生涯学習フェスティバル発表</b>	バスに乗ってみよう(中学生) 外出
12月	13日	20日	27日	18日 (第3日曜日)
	フラワーアレンジ*冬* コミセン和室	ドッジボール 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	フラワーアレンジ*冬* にこにこ
1月	11日 (第2水曜日)	17日	24日	22日
	調理 フラットピア調理室	ドッジボール 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	電車に乗ってみよう(小学生) 外出
2月	14日	21日	未定 (土曜日)	26日
	調理 フラットピア調理室	ニュースポーツ 町民体育館	よさこい&ダンス <b>平成の森老健交流会</b>	電車に乗ってみよう(中学生) 外出
3月	14日	21日	28日	19日 (第3日曜日)
	調理 フラットピア調理室	ニュースポーツ 町民体育館	よさこい&ダンス フラットピア多目的室	調理 フラットピア調理室

※教室により、内容・時間等が変更になる場合があります。ご了承ください。  
 ※年間登録料・・・川島町にお住まいで、障害者手帳をお持ちの方1500円 それ以外の方3000円  
 ※費用・・・参加費として各教室1回500円（他に材料費をお預かりする教室もあります）

係名	グループ外出	
担当者		
基本方針	<p>多くの人に参加、楽しんでもらえるよう魅力的な企画を提案する。          外出の方法を学びながら、余暇の充実を図っていく。</p>	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者がコーディネート・企画・運営をしていく。</li> <li>・参加されるそれぞれの利用者に合わせたスケジュールを提案していく。</li> </ul> <p>※下記の年間計画を参照</p> <p>平成28年度について、前年度に引き続き好評な季節ごとの定番の企画を盛り込みつつ、新しい場所に目を向けられる内容で計画した。</p>	
年間計画	月・日	内容
	4月 (9・10日)	お花見に行こう
	5月 (7・8日)	遊園地で遊ぼう
	6月 (4・5日)	ボウリングで楽しく体を動かそう
	7月 (2・3日)	海を見に行こう
	8月 (6・7日)	イベントに参加しよう
	9月 (3・4日)	フルーツ狩りを楽しもう
	10月 (1・2日)	ミュージアムに行こう
	11月 (5・6日)	ハイキングに行こう
	12月 (3・4日)	クリスマスイルミネーションを楽しもう
	1月 (7・8日)	初詣に行こう
	2月 (4・5日)	ボウリングで楽しく体を動かそう
	3月 (4・5日)	遠出をしよう
	予算	なし
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時： 東京駅 越谷レイクタウン 池袋(物産展)</li> <li>・コーディネーターはローテーションで配置する。</li> </ul>	

平成 28 年

## 【グループホームにじ】 サービス提供目標

### 《サービス提供基本方針》

- ・入居3年目を迎え、安心できる生活の場として、個々の利用者のニーズや思いに寄り添う。
- ・利用者の人権を守る意識を常に持つ。

### 《重点目標》

- 1、利用者ごとのニーズや思いに寄り添った個別支援計画の下、本人主体の支援をおこなう。  
～個々の利用者の思いの実現を最優先に据える。その中で他者との距離感をうまく保つことができるよう配慮する。その際、場当たりの対応をするのではなく、この先何十年と住む安心してできる暮らしの場としての長期的な視点を忘れない。
- 2、スタッフが人権意識を持ち、幹となる個別支援計画に基づいた支援をおこなう。  
～個々のスタッフが、利用者の人権を第一に考える。利用者本人主体の個別支援計画の下、それぞれの職種を全うし、お互いに連携しながら、暖かい家庭づくりをこころがける。
- 3、地域の中のグループホームとして、近隣住民の皆さんとの交流を大切にする。  
～地域の活動に参加し、その中で入居者が地域の皆さんと積極的に触れ合えるように配慮する。

### 《取り組み》

- 1、個々の入居者の声や思いをしっかりと受け止める。
- 2、個別支援計画に基づき、個々のニーズに合わせた生活全般における支援をおこなう。
- 3、家族との連携を引き続き密にする。また他機関との連携をおこなう。その中で、本人を中心としたこれからの生活を一緒に考えていく。
- 4、スタッフに対する人権研修・啓発を定期的におこなう。
- 5、定期的な会議や日々の引き継ぎなどを通じて、スタッフ間での支援の統一をはかる。その際に個々の入居者の支援目標を幹として据え、常にそこに立ち返ることができるように意識及び配慮する。
- 6、スタッフによる日ごろからの挨拶や近隣の交通面等に気を配るとともに、地域活動に積極的に参加する。その際、常に入居者が主体となって交流できる配慮を忘れない。

2016年度 グループホームにじ 年間計画

	入居者行事	スタッフ会議等	地域活動	その他
4月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	下八ツ林集落活動組織・ひまわり種まき参加 (入居者・スタッフ)	法人新年度会議(スタッフ)
5月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	美化運動参加(入居者・スタッフ)	スタッフ健康診断
6月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議		防災訓練
7月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	下八ツ林集落活動組織・コスモス種まき参加 (入居者・スタッフ)	
8月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議		
9月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	美化運動参加(入居者・スタッフ)	
10月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	下八ツ林集落活動組織・菜の花種まき参加 (入居者・スタッフ)	
11月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議		
12月	メンバー会議 レク クリスマス会	スタッフ会議 世話人会議		防災訓練
1月	初詣 メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	馬場地区新年会(スタッフ)	
2月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	下八ツ林集落活動組織・視察研修参加(ス タッフ) 美化運動参加(入居者・スタッフ)	
3月	メンバー会議 レク	スタッフ会議 世話人会議	馬場地区役員引き継ぎ懇親会(スタッフ) 下八ツ林地区総会(スタッフ)	

## 平成28年度 にこにこ・ぬくぬく 事業計画

### サービス提供基本方針

それぞれの事業において、利用者のニーズにひとつひとつ応えることを第一に、にこにこにおいては集団での遊びや活動を通じて、個々の児童が本人主体の下、生活能力の向上や豊かなコミュニケーション能力が図れるように支援をおこなう。一方ぬくぬくにおいては、家庭に代わるセカンドハウスの存在として、個々の利用者がいつでも安心してくつろげる場所になるように支援をおこなう。

### 重点目標

- 1、本人主体の個別支援計画に基づく、個々の発達段階や個性に応じた支援の実現  
(にこにこ)
- 2、利用者がゆっくりくつろげる宿泊の場、保護者が安心できる宿泊の場の実現  
(ぬくぬく)
- 3、新規事業所としての運営体制の確立（共通）
- 4、地域のニーズに即した展開、川島町の自然を取り入れた活動、地域住民の皆さんとのお付き合い・交流など、地域の中の事業所としての活動の実現（共通）

### 具体的な取り組み

- 1、個別支援計画の作成・実行・見直し・評価の各過程を丁寧におこなう（にこにこ）
- 2、自宅を離れての宿泊・新しい場所での宿泊に伴う個々の不安に、ひとつひとつしっかりと寄り添う。また「お互い様の譲り合い」精神を掲げ、保護者の緊急時における心配に対し、安心できるように対応する（ぬくぬく）
- 3、保護者との連携を密にする。また学校や相談支援機関など、利用者本人をよく知る機関との連携を随時おこなう（共通）
- 4、定期的な会議や毎日の引継ぎなどを通じて、スタッフ間での支援の統一をはかる。また、法人職員間での連携や協力体制を確立させる（共通）
- 5、実際の運営に即して、効果的かつ効率的な事業所運営スタイルを確立させる（共通）
- 6、日ごろの挨拶などを通じて、近隣住民との関係を築いていく（共通）

### 職員配置

管理者	1名	児童発達支援管理責任者	1名
児童指導員兼生活支援員	3名	指導員兼生活支援員	2名
保育士兼生活支援員	1名	(非常勤) 看護師1名・保育士他…複数名	

### 平成28年度目標値

目標値	開所日数/年	平均利用数/日	平均収入/日	年間収入
にこにこ(児デイ)	297	7.8	77,450	23,002,650
ぬくぬく(ショート)	360	6.2	55,800	20,088,000

